



「石 桜 精 神」

歯科医師石櫻会
会長 田中 健一

昨年は一月から続いた完全国体の年で、我が岩手は予想以上に健闘し県民にとって大変に喜ばしい結果であったこと皆様ご承知のことと存じます。

出場選手の他、運営関係者、ボランティア、応援の子供たち、数えきれぬほどの県民が協力して積極的に国体へ関わりました。大会後はやり遂げた満足感の反面、準備や苦楽を共にした仲間と別れる寂しさもさぞあったろうに違いありません。

岩手国体のスローガン「広げよう感動、伝えよう感謝」の通り、この度の国体は東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県から全国の支援に感謝と敬意を表すことの出来た大会でもあったと思います。これからも早い復旧復興を願ってやみません。

さて、我が母校岩手中学、岩手高等学校もこの年創立90周年を迎えました。記念式典が平成28年11月に盛岡市民文化ホールにて行われ、全校生徒506名、教職員、PTA保護者、同窓生、来賓を含め約700名が列席し盛大に挙行されました。石桜同窓会からは記念事業として創立者三田義正先生の胸像を寄贈し、同じく11月には除幕式が執り行われました。この事業の一環として石割桜に向かって校歌を歌おうという企画も実施され盛大に90周年という節目を迎える事ができ万感の思いが致します。

我々歯科医師石櫻会も、今一度石桜精神の思いを新たに、石割桜に感謝しつつ今まで以上に発展、躍進しその使命を発揮できるようこれからも皆様方のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

最後に私の任期もあとわずかとなりましたが、様々な面で支えて頂いた事を深く感謝申し上げます。

掲 載 内 容

- ・ 巻頭言
- ・ 平成28年度総会報告
- ・ 平成28年度講演会報告
講演1 (新35回生)
亀田 幸宏 先生
講演2 (市民の歴史探究館代表)
山田 公一 氏
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



平成28年度総会、講演会、村田昌明先生・小豆嶋正典先生祝賀会報告

平成28年6月11日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡ニューウィングにおいて平成28年度歯科医師石櫻会総会・講演会が28名の会員出席のもと開催された。総会は、小山田榮二副会長の開会の辞、田中健一会長挨拶の後、大久保卓也幹事の司会で米内正会員が議長を務め、中野廣一幹事長より平成27年度会務報告、赤坂俊彦幹事より会計報告、池田健監事より会務・会計内容が適切である旨の監査報告があった。平成28年度事業計画等、会員名簿等について審議され原案通り可決承認された。池田健監事の閉会の辞にて総会を終了した。総会の後に、上原豊幹事が座長を務め、亀田幸宏先生の講演「かめだ歯科医院の診療システム 開業10年を振り返って」、つづいて市民の歴史探究館代表の山田公一氏の講演「市民の暮らし物語 大島高任～瀬川安五郎～今里茂」を拝聴した。その後、熊谷哲也幹事の司会のもと「村田昌明先生医療功労賞受賞ならびに小豆嶋正典先生の岩手医科大学医療専門学校長就任祝賀会」に入り、田中会長挨拶、村井岩手中学・高等学校長および小枝指石桜同窓会長の来賓挨拶をいただき、村田先生、小豆嶋先生のご挨拶があり、横澤先生の乾杯で祝賀会に入った。恒例の会員の挨拶、近況報告が楽しく行われ、田中崇一先生の音頭で岩手高校校歌を斉唱し、上原幹事の中締めで閉会した。(中野廣一 記)



講演会講師の山田氏と亀田先生



小豆嶋先生と村田先生の祝賀会



参加者全員での校歌斉唱



講演1

「かめだ歯科医院の診療システム
— 開業10年を振り返って —」

亀田 幸宏 先生 (新35回生)

盛岡市開業

十年前に開業することになり第一に考えたのは患者サイドへの情報の伝え方でした。大学では口腔内の状況説明に直接デンタルX-Pや鏡を使っていた方法だったので、説明している側も判りにくいだろうなと思っていた。今では普通になったが、ユニットにパソコンとモニターを用意してX-Pや口腔内写真を判りやすく見せることを考えた。具体的には、チェアサイドでオルソパントモX-Pや口腔内写真を説明すると同時に、患者向けのプレゼンテーションソフトを用いてう蝕の状況や歯周検査結果が記載されたものを見せながら、おおよその治療期間、最終的な補綴の選択肢などを説明し、それを記載したものを持参してもらうことで、しっかりと記憶してもらうと共に後で見直すことができるようにした。また、う蝕治療の場所を明確にすることで「聞いてなかった」「やたらに削られた」というトラブルを防ぐことができるようになった。次に考えたのは、何かを当院の診療上の主軸に置かなければならないということだった。これについては、大学でも歯周病専門でやってきたので、技術的に困ることはなかったが、SPRなどは、何をやっているのかよく判らないと言われることもあった。そこで、これもプレゼンテーションソフトを用いて理解を深めてもらうことで、判りにくい歯周病治療も、得心のもとに、より確実な治療を行うことができるようになり、大学で行っていた診療に近いレベルの治療を提供することができるようになったと思っている。これは、術者側にも「もう少しこれをやっておけば、抜歯にならなかったのに、抜髄にならなかったのに」というストレスを減らし、術者側の満足度をも高める副次的効果も発揮して

いるのかも知れないと後で気付いた。同時にその延長線上でインプラント治療も積極的に取り入れて行くつもりであった。インプラント治療を選択してもらおう上で越えなければならないハードルは、費用面の問題だと考えていた。初診時に既に欠損のある方や、残念ながら治療途中で抜歯に至った方に対して、予め最終補綴のことも説明しておくことで、高額な治療に対する心構えをしてもらえというメリットが生じ、思ったよりスムーズにインプラントを選択してもらえるようになった。かくして、開業から現在に至った訳ですが、やってみると思うようには行かず、10年経ってもいろいろなことが解決したり解決しなかったりで、進歩があまり感じられませんが、「日々是好日」の心境で過ごしたいと思っています。(講演者 自抄)



講演2

「市民の暮らし物語
大島高任～瀬川安五郎～今里茂」

山田 公一 氏 (新22回生)

市民の歴史探究館 代表



災害が続いた2016年でした。皆さんに畑違いの話をお聞き頂いてから、何か役に立つようなことはないか？さらに調べたいのですが、現在休止中である事情をお知らせします。

私の父は盛岡市史など公的な郷土史執筆を半世紀以上の昔に他の方と共に引き受けていました。ところがなぜか1958年頃に、やがて盛岡バスセンターが始まると書いた書籍が事実上最後の自治体史になってしまうものの、編纂作業は80年代迄続きます。だから、1970年岩手国体や高度成長期、オイルショック、広域合併、医大救急センターの設置などは行政史書

見つけることが出来ません。勿論現代迄に各界の様々な研究のなかで新しい成果や郷土史の発見も多数あった数十年ですが、総合的に概要を網羅した書籍は不完全なものだけしかありません。近年執筆者の子孫である私にさえ苦情が来るような始末です。だから近現代史のなかで歯科医師会草創期も理解されていませんでした。

1863(文久三)年、かの大島高任と共に西洋学問の学校(日新堂)を創設した中心人物には八角高任(はっかく・たかとう)がいましたが発電機、写真、オルゴール、避雷針など多彩な実験器具には興味深いものです。今里茂先生は盛岡に開業される前にきつと長崎や横浜で同様の物を見られていると思います。

大災害時には先生方も協力されている現代ですが、大島高任などの記録には地震や洪水のことも書かれています。西日本〜江戸を経た大地震は1856(安政三)年南部領も襲い、津波とは別に内陸被害の記録が、1849(嘉永二)年には今回の台風と同様の山津波の記録もありましたが、これらは歴史書には記載が無いありさまです。先生方、風説でもかまいませんので是非関連情報をお寄せ下さい。(講演者自抄)



明治26年開業の今里歯科医院看板(院長今里茂氏)当時盛岡で唯一の歯科医院であった。今里氏は九州天草の出身。大正6年初代の岩手県歯科医師会会長に就任。



本院の名義を以て一ノ関本地方へ出張せし者有之候に聞及候得共無之付此段廣告す
盛岡市六町廿二番戸
今里歯科醫院



当時の歯科材料カタログ



当時の岩手病院と三田俊次郎氏

平成28年度 歯科医師石櫻会 総会・講演会・村田昌明先生・小豆嶋正典先生祝賀会 参加者のご紹介 (敬称略)



後列左から：渡辺充泰、志賀元一、高橋賢司、波紫修一、西郷史郎、大久保卓也、近藤 聡
中列左から：村上 修、角田克保、熊谷哲也、池田 健、上原 豊、道又 元、田中崇一、中野廣一、岡村賢治
前列左から：小山田榮二、米内 正、小枝指 博同窓会長、村田昌明、小豆嶋正典、村井伸吾校長、田中健一、山田公一、亀田幸宏、横澤昭平、桂 啓文

石櫻 トピックス

ご存じだろうか、岩手高等学校出の音楽家がいることを。彼の名は「柴田泰孝(やすたか)」氏、平成12年卒業の新52回生である。洗足学園音楽大学の音楽家を卒業後にイタリアのミラノへ留学。イタリア・マスミュージック大学の音楽学科を経て、ジーザスクライストスーパースター、ジキルとハイドなど、多数の舞台に出演。柔軟で力強い歌声で高い評価を得ている新進気鋭の音楽家である。将来の活躍を期待したい。(中野廣一 記)

柴田泰孝プロフィール
▶昭和60年岩手町岩野内に生まれる
▶岩野内小、中学校、岩手高校
▶洗足学園音楽大学音楽学部音楽科卒業
▶卒業後国内で活動をし、2008年イタリア

役員名簿

(任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日)

- 会 長 田中健一
- 副会長 小山田榮二、小豆嶋正典
- 幹事長 中野廣一
- 幹 事
- 学術 上原 豊、田中崇一
- 会計 赤坂俊彦、近藤 聡
- 庶務 熊谷哲也、大久保卓也、内田良夫
- 名簿 波紫修一、高橋賢司
- 記録 亀田幸宏 (ビデオ撮影、DVD・抄録作成)
- 広報 関 克典、西郷史郎
- 地区 道又 元、村田昌明、佐々木正博
- 学内 岡田伸男 (学術と兼務)
- 顧問 岡田宗二、横澤昭平、山田康平
- 監 事 村上 修、池田 健 (敬称略)

幹事会記録 (抜粋)

平成28年度第1回幹事会

日 時：平成28年5月31日(火) [於：「すず禅」]
 出席者：田中健一会長、小山田榮二、小豆嶋正典の両副会長、
 中野廣一幹事長、亀田幸宏、熊谷哲也、大久保卓也、
 田中崇一の各幹事、池田 健監事(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告：平成28年2月22日幹事会▼4月22日第8号会報・講演会案内等発送(125部)
 (2) 赤坂会計担当幹事より平成27年度の会計決算報告：
 <収入>収入合計524,118,454円(内訳：当日会費7,000×24=168,000、
 当日年会費5,000×13=65,000、振替入金5,000×30=150,000、振込入金5,000×24=120,000、雑収入21,000、決算利息145)
 <支出>支出合計406,354円(内訳：総会費244,680、講師謝礼70,000、
 車代20,000、資料作成費等45,000、香典(4件)20,000、自動振替手数料6,674)
 <収支> 524,145円 - 406,354円 = 117,791円
 (3) 会員名簿報告：岡田伸男学内幹事より、岩手医大歯学部学生：9名、
 岩手医大歯学部卒業生：4名の情報提供があり、会員から届いたFAXにての住所変更情報も組み入れて、波紫修一幹事が、
 最新版の「歯科医師石桜会会員名簿」を作成した(会員数133名(物故会員除き))。大平会員が花巻市で開業したとの情報もあり、
 この情報も組み入れて会員名簿を、さらに正確で充実したものにしてゆく予定である。

2) 審議事項

(1)平成29年度事業について
 ・H.メトロポリタン・ニューウィングにて総会、講演会、懇親会(村田昌明先生医療功労賞受賞ならびに小豆嶋正典先生の岩手医科大学医療専門学校長就任祝賀会併催)を行う。
 (2)講演会について
 ・亀田幸宏先生(新35回生)と初の文化系講師として山田公一氏(新22回生)市民の歴史探究館代表。
 (3)次年度の講師について
 ・中野廣一先生(新22回生)と小豆嶋正典先生(新23回生)
 (文責：中野廣一)

平成28年度第2回幹事会

日 時：平成29年3月7日(火) [於：「利衛門」]
 出席者：田中健一会長、小山田榮二副会長、中野廣一幹事長、
 赤坂俊彦、亀田幸宏、熊谷哲也、西郷史郎、波紫修一、
 上原 豊、大久保卓也、岡田伸男、田中崇一の各幹事
 (敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告：6月11日平成28年度総会、
 学術講演会(講師：亀田幸宏先生(新35回生)、山田公一氏(新22回生)市民の歴史探究館代表)、
 歯科医師石桜会懇親会、村田昌明先生医療功労賞受賞ならびに小豆嶋正典先生の岩手医科大学医療専門学校長就任祝賀会併催(参加者数28名)
 ▼平成28年9月5日：高橋賢司先生(新40回生)ご尊父ご逝去：
 会からお香典。平成28年12月18日：野館孝之先生(新26回生)ご母様ご逝去：
 会から弔電。
 (2) 赤坂会計担当幹事より平成28年度の会計中間報告：
 <収入>収入合計447,011円(内訳：当日会費6,000×22=132,000、
 当日年会費5,000×9=45,000、振替入金5,000×30=150,000、
 振込入金5,000×20=100,000、雑収入20,000、利息11)
 <支出>支出合計351,812円(内訳：総会費245,922、講師謝礼70,000、
 車代10,000、総会資料作成費・送料10,216、慶弔費9,000、
 自動振替手数料6,674)
 <収支> 447,011円 - 351,812円 = 95,199円
 (3) 波紫幹事より、名簿変更者2名、追加者2名、2名の不確定会員の報告あり。
 正規名簿は平成29年に発行する。平成29年度から4年毎に名簿を発行する。
 名簿印刷は原則としてセーコー印刷発注。
 平成29年度の総会資料とともに正規名簿発行に伴う名簿変更用紙を送付する。

2) 審議事項

(1)平成29年度総会・講演会・懇親会は6月10日(土)夜5時からH.メトロポリタン盛岡本館にて開催。
 (2)平成30年度総会・講演会
 6月9日(土)メトロポリタン盛岡本館にて夜5時半から開催。
 講演会講師は青木修治先生(新36回生)と外部講師は山田浩之教授。
 (3)平成31年度総会・講演会
 6月8日(土)メトロポリタン盛岡本館にて夜5時半から開催。
 講演会講師は内部講師未定と藤原隆麻呂氏(新24回生)(八幡宮宮司)。
 (文責：中野廣一)

事務局からのお知らせ

■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込みをお願いいたします。
銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手続きを宜しくお願いいたします。

■ 「銀行振込み口座」

東北銀行 大通支店(支店コード103)
 (普通) 3162801 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦

■ 「口座振替依頼書」のお手続きの問合せ・送付先
 〒020-0016 盛岡市那須川町29-2 赤坂病院歯科
 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦 宛
 TEL : 019-624-1225 FAX : 019-623-1825

■ みなさまの声を寄せ下さい

本会についてのご意見・ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせ下さい。

歯科医師石桜会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70
 くまがい歯科クリニック内
 TEL / FAX : 019-632-1188
 E-mail: tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

桜満開の頃、皆様のご協力により完成しました会報第9号をお届けいたします。◇昨年母校の岩手中学・高等学校が創立90周年を迎えました。ご存じのように創立者の三田義正翁は三田商店の創業者でもあり、岩手医科大学の創立者、三田俊次郎翁の兄君にあたります。父君は盛岡藩士で、賊藩の出であることから、兄弟共に幾多の困難に遭いながらも、地元で教育と医療を根付かせることに尽力されました。苦難に負けず、それを割るように根をおろし美しい花を咲かせる石割桜に、ご自身の想いを重ねたのかも知れません。建学の理念「石桜精神」は創立者からの不滅のメッセージです。◇小豆嶋副会長が来年3月末をもって岩手医科大学教授を定年退職なさいます。今年の講演会ではこれまでの先生のご業績の集大成をお話いただけるものと思います。多数のご参加をお待ちしております。(中野廣一 記)